

議事録：令和3年度1回石狩市文化財保護審議会

■日時：令和4年3月28日（月）13：30～14：20

■会場：石狩市役所 402会議室

■出席者

石狩市文化財保護審議会委員

- ・村山耀一
- ・百瀬 響
- ・鈴木明彦
- ・三浦泰之
- ・加藤和子
- ・長 良幸
- ・若林真紀子

事務局

- ・安崎克仁（生涯学習部長）
- ・工藤義衛（生涯学習部文化財課長・学芸員）
- ・坂本恵衣（文化財課主事・学芸員）

■欠席者

- ・坂梨夏代

■傍聴者

2名

1. 部長あいさつ
2. 会長あいさつ
3. 報告事項
 - 1) 令和3年度文化財関係事業について
 - ①資料館管理運営事業について
 - ②研究活動の状況について
 - ③文化財関連事業について
 - 2) 令和4年度文化財関係事業（予定）について
4. その他

以下、議事録

工藤：本日はお忙しい中ご出席いただきありがとうございます。札幌国際大学の坂梨先生は欠席のご連絡をいただいておりますので、7名のご出席を確認いたしました。それではこれより令和3年度第1回石狩市文化財保護審議会を始めます。

今回、文化財保護審議会2年任期の最後の会となりました、本来教育長からご挨拶とさせていただくところですが、公務のため本日欠席のため、生涯学習部安崎部長よりご挨拶させていただきます。

安崎：生涯学習部長の安崎です。今工藤課長からありましたように令和2年5月に皆さんに審議員の委嘱をさせていただきました。残念ながらコロナ真っ只中、収束が見通せない中2年間が経ってしまいました。教育委員会では、学校のことを言わせていただきますと、冬休みがあけてから子供たちの感染が増加し、学級閉鎖等が相次いだ状況にあります。春休みのあとに落ち着いてもらえればという気持ちが正直なところであります。この2年間の資料館等の動きを振り返りますと、緊急事態措置によって公共施設が原則休館となり、令和2年度も3年度も休館いたしました。それに伴い、講座の中止やボランティアさんの活動が休止する等、爪痕を残した形であります。その中で基本的な感染対策や、その徹底ですとか、あるいは行動制限の緩和によって人の動きが少しずつ戻ってきている状況ではないかと感じております。それは砂丘の風資料館の入館者を見ても感じているところであります。今コロナ禍を見据えて、資料のデジタル化等も見据えているところですが、皆さんから何かご提案がございましたら、頂戴できればと思います。本当に2年間ありがとうございます、本日任期最後の会議になりますが、よろしく願いいたします。

工藤：それでは続きまして村山会長からひと言ご挨拶をいただきます。

村山：こんにちは。今安崎部長からお話がありましたように、コロナの関係で審議会もなかなか開くことができない中で今回、2年間の最後でありますので、しっかりと審議し

ていきたいと思えます。

一方でロシアがウクライナを攻めているというような新聞やテレビ等いろんな場面で見るたびに、心臓や心、胸が常に痛くなるような毎日でありまして、一方で日本のことを考えると終戦直後にロシアが北方領土を攻め入って現在に至っているという、そして今回のこういう状況で北方四島が日本に戻るとするのは厳しいのではないかとこの雰囲気。そしてさらに歴史をさかのぼると、幕末に石狩または私村山の先祖と関わってくると、石狩改革で村山家の場所がなくなり、一出稼ぎ人になったという歴史がありますけれども、それにもロシアの南下が関わっていました。そうするとロシアという国は どうして歴史こういうことを起こすのかなと、昔ロシアのことを「ロスケ」と呼んでどちらかというとなかなか非難することが流行っていたということがありましたが、本当にニュースをみるとイライラとしてしまう状況です。

一方で現在の石狩市は人口が若干戻ってきて、さらに未来に向けて発展しようとしているということを考えると、我々が未来を見据え、しっかりと覚悟を決めながら生活していかなければならないかなと思っております。審議会もそういう意味で文化財課を中心に行ってきた色々な事業を検討したり、確認したりしながら協力していきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

工藤：ありがとうございます。それではこの後の進行については、村山会長にお願いしたいと思えますが、先に配布資料の説明をさせていただきます。

文化財保護審議会の資料が一部、砂丘の風資料館の紀要、石狩市郷土研究会の会誌「いしかり暦」を配布いたしました。印刷物については文化財活動の成果という部分、郷土研究会については文化財課としても支援しているということで、これらについては市民図書館の方に収蔵して市民のどなたでも読める形にしております。それから博物館だよりエスチュアリの59号、それから現在資料館で行っておりますテーマ展「穴水コレクション」といって、こちら昨年亡くなられた教育委員の穴水委員が行っておられた標本について、ご家族から寄贈を受けましたので、たくさんあるうちのごく一部ですが、現在展示しております。そして、A4二つ折りの資料ですが、後ほどご報告いたしますが、石狩小学校の円形校舎、閉校になりましたが、その校舎について今年度一定期間一般公開をいたしましたので、その際に作成したリーフレットになります。以上です。

それでは、以降の進行は村山会長よろしく願いいたします。

村山：それでは報告事項進めていこうと思えます。最初に（1）令和3年度の文化財関係事業についてお願いします。

坂本：では、（1）令和3年度文化財関係事業についてご説明いたします。

（①資料館管理運営事業について説明）

村山：では現在説明いただいた①資料館管理運営事業について質問ありませんか。

例えば入館の数は昨年度より増えていることは良いことですが、コロナでなければ

もっと過去（入館者数）いってたんですよ。

坂本：そうですね、コロナ前は約 1,900 人でした。昨年度が 1,000 人弱ですので、増加はしておりますが、やはり休館期間もありましたので、元通りまではいきませんでした。

長：報道等の説明の中に、旧石狩小学校の新聞・テレビ等の話がありましたが、日時等わかれば見てみたいので教えていただきたいです。

坂本：テレビが 3 件ありました。NHK の「おはよう土曜プラス」での放送でしたので後ほど放送日をご報告いたします。

百瀬：Youtube の動画閲覧数はどのくらいですか？

坂本：資料館が単体で出したもので閲覧数が一番多い動画はフジツボの映像で約 6,000 回です。科学の祭典と連携した予告版の動画が約 1,500 回です。

鈴木：科学の祭典で志賀さんが作成されたフィールドワークの動画ですが、私たちもなかなか実際にフィールドワークをできない中で、授業等で座学と動画は拝見しました。閲覧数の中の 50 くらいはそれが入っていると思います。こういう時期ですので活用させていただきした。

坂本：ありがとうございます。

村山：なかなか効果的ということですね。

鈴木：外に出ることがなかなか難しいですからね。

村山：では次②研究活動の状況についてお願いします。

坂本：（②研究活動の状況について説明）

村山：今の説明について質問はありませんか。

この参加本数は例年なみですか？

坂本：学会発表等では現地開催が中止となる中でオンライン開催が増えましたので、普段参加を断念しているものに参加できるというメリットはありました。ただ、現地で集まることができる会は減っていますので、総数としてはあまり変わっていません。

長：漂着したクジラ等の調査をされていたりしますが、環境ホルモン等の分析等はされたことがあるのですか。

坂本：専門職員は志賀になりますが、資料館ではそういった分析は行っておりません。分析を行っているとする、先ほど連携団体でご説明した「ストランディングネットワーク北海道」の研究施設になるかと思います。資料館では漂着（座礁）に関するデータの採集になります。

長：次に、工藤さんへの質問なのですが、11 月位に函館でされた荒井金助に関する話を興味になるのですが、中身を知りたいです。

工藤：わかりました。

村山：では次をお願いします。

坂本：（③文化財関連事業について説明）

村山：現在の③について質問はありますか？

(埋蔵文化財保護にともなう) 調査・照会というのは一般や事業者から見てほしいや調べてほしいというものですか？

工藤：はい、これについて一番多いのは、砂利の採取事業等を行う土地に埋蔵文化財があるかという問い合わせ、もう一つ多いのは住宅の売買に伴う問い合わせになります。法律上、重要事項ということで、その土地に埋蔵文化財の登録があるかどうか確認して明らかにしなければならないということで、問い合わせがあります。多いのはこの2つになります。

村山：では次の④石狩小学校校利活用についてお願いします。

工藤：(④石狩小学校について説明)

村山：このことについて質問はありますか。

来年度は学校史を展示するということですか。

工藤：以前の利活用検討委員会にも含まれていましたが、現在は石狩小学校の歴史展示のどまっておりますので、厚田・浜益等も含む学校についても展示をしていきたいと考えております。

村山：では次に(2)令和4年度文化財関係事業計画(案)についてです。

坂本：((2)令和4年度文化財関係事業計画(案)について説明)

村山：この事項について何か質問はありませんか。

石狩小学校での収蔵資料データベース整備事業というのはいわゆる石狩小学校の資料なのか、将来石狩小学校に収蔵しようとしているほかの資料なのでしょう。

工藤：はい、これについては、石狩小学校の資料に限らず、これまで収集した資料のデータベースを作成するという内容になります。坂本の説明でデータベース化の前段階の作業という言い方をさせていただきましたが、こうした収集資料のデータベースを作るにあたって資料の計測ですとか、資料をしまう(片づける)前に、資料の情報を入力し、台帳のようなものを作っていくわけですが、実物がございまして、どこにしまわれたのかがとても重要になってきます。その「しまう場所」のための整理を石狩小学校で進めているところになります。最終的にはデータベース部分と実物がどこにあって、取り出す(展示する、見てもらう)、というためにも物理的な環境整備が必要になりますので、そういった部分の整備作業を同時に進めているところになります。

百瀬：データベースについて公開等は考えていらっしゃいますか。収蔵資料についてです。

工藤：収蔵しているものをすべて展示できるわけではないため、見たいという方に見ていただくことは、今は資料が分散していたりする収蔵状況で出しにくいものもありますが、将来的にはそうした対応もしていきたいと考えております。また、そのためには台帳の公開、見たいと申請するためにも何があるのかがわかるのが必要になるかと思いますが、そのデータの公開についてはこれからの検討課題になるかと思えます。他の博物館でも公開しているところはありますので、今の時代です。

ネット等を使う形になるのかと思いますが、やり方を検討していきたいと思っています。

長：厚田にも旧資料室のものが貯蔵されているところがありますが、今回のこの石狩小学校で置くということになっても場所的、面積的、施設の状態等将来的に使えるような形になるんですかね。

工藤：今作っているデータベースについては石狩市のものが対象になっているので、最終的には厚田・浜益のものも対象になってきます。そして旧厚田村時代に収集された資料が道の駅に収蔵庫にあります。そういった資料もデータベースに掲載していくことになるかと思っています。また場所については長らく北海道博物館に寄託されていたわけですが、解除されて戻ってくる際の条件として、保管環境について十分配慮してほしい、きちんとした温湿度管理ができる場所で保管してほしいと言われていました。厚田の道の駅はきちんと空調が入っていますので、今保管しているわけですが、もしこれらを他の場所に移すとなると、そうした条件、保存環境について一定の管理ができる場所に移すことになるかと思っています。現状の石狩小学校はそうした環境が残念ながら今できていませんので、将来的にそういったところに収めていくことになるかと思っています。

長：データにして入れていくとなるともうそういう入れるもの、しまうところがあった方がいいのかなと思いました。資料の分類わけ等をして。

工藤：現在行っている準備作業の中にそうした判断も含まれているだろうと思います。

村山：それではそれ以外で何かご意見ある方いらっしゃいますか。

工藤：委員の方からなければ、私の方から今年度末で人事異動がございました。文化財課は専門職の者も多く、比較的そうした異動が少ない職場ではあるのだろうと思いますが、今回ご報告させていただきたいと思います。

まず私（工藤）ですが、今年度で定年退職となりました、長い間ありがとうございました。

次に転出、この教育委員会あるいは文化財課から異動するという事で本日出席している安崎生涯学習部長が監査委員事務局長として異動になります。また文化財課で事務を担当しておりました田村主任が4月から図書館に異動になります。これらが転出の部分になります。

それから転入の部分ですが、まず安崎部長の後任ということで、現在財政部長をしている蛭谷部長が生涯学習部長となります。また、私が3月末で退職ということで、後任の文化財課長は蛭谷部長が兼務となっております。それから文化財課の中で事務担当の田村の代わりに現在社会教育課にいる作田主査が転入いたします。そして環境課にいました学芸員の荒山が4月より文化財課に4年ぶりに戻ってまいります。最後になりますが、4月から私も再任用職員で主任ということで文化財課にお世話になりますので、引き続きよろしくお願ひいたします。今回の人事異動については以上でございます。

村山：今、市の人事について説明がありましたが、安崎部長が異動されるということ、それから工藤課長が退職という、まだなのではないかと思っていたのですが、審議会も長年お世話になりましたので、改めてお礼申し上げたいと思います。また4月以降も残られるということでよろしく願いいたします。

またこの審議会も2年目の最後ということでお互いにご苦労様でした。以上で終わりたいと思います。

工藤：それでは令和3年度第1回文化財保護審議会を終わりたいと思います。本日は年度末のお忙しい中、ありがとうございました。

以上

議事録を確認しました。

令和4年 3月 31日
石狩市文化財保護審議会

会長 村山 耀

